

# デマンドコントロールシステム導入事例

## 老人ホーム

- 利用者第一のサービスを維持したうえで、最大デマンド対前年▲10%を目標として取り組みを実施。
- デマンドコントロールシステム導入により**最大デマンドを150kWから132kW(▲12%)に下げることができた。**

## ホテル

- 電気使用状況の把握と職員の情報共有が電気の使用効率化につながると考え、デマンドコントロールシステムを導入。
- 日時別の詳細データをそのまま報告書として使用することが可能となり、社内の情報共有も円滑となった。
- 電気だけでなく全てにおいて、効率的な使用を求める職場風土が醸成された。
- **電気の消費の仕方は一律ではなくバラバラに見えるが、その中にパターンがあることが分かった。**

## 学校

- 研修施設では宿泊者の多い時期に電気の使用が多いことは分かっていたが、デマンドコントロールシステムの導入によって、**宿泊者のドライヤー使用が集中する午後7時30分頃に最大デマンドが発生していることが分かった。**
- 利用者に不便がない範囲で、フロアごとにドライヤーの使用時間帯を制限したり、入浴時間をずらすなどの対策を行った。
- 結果として、**最大デマンドを147kWから119kWへ下げることができた。**

## パチンコホール

- 東日本大震災後、節電・省エネへの機運が全国的に広まる中、節電意識も高まりデマンドコントロールシステムを導入。
- 最大デマンド発生原因の絞り込みを行った結果、照明と空調を使用する夏場の夕方に最大デマンドが出ていることが分かった。
- 全従業員を対象とした勉強会を実施。各ホール・事務所へ20個の温度計を設置し、1日に5回チェックシートへ記入することにより、室温が28度になるよう管理を徹底した。
- 結果として、**17kW～34kW(複数店)の契約電力の削減につながった。**

## 事務所

- **省エネ法の特定事業者**に指定され、省エネ促進の一環としてデマンドコントロールシステムを導入。
- 最大デマンド発生原因が空調であることを特定し、警報時の対応マニュアルを作成(各課のエアコン停止)。
- 猛暑であったが、**最大デマンドを229kWから196kW(▲33kW)に下げることができた。**

(出典:一般財団法人中国電気保安協会「電気と保安」)

《お問い合わせ先》 中国電力株式会社 販売事業本部 法人提案グループ  
電話:0120-963-783